

自然環境WG活動報告

平成25年3月13日 第5回札内川懇談会

開催状況

回	開催日時	会場
第1回	8月1日(水) 15:50～17:30	エールセンター十勝
第2回	9月27日(木) 18:00～20:30	十勝川インフォメーションセンター
第3回	11月15日(木) 14:00～19:30	・札内川上流部現地視察 ・十勝川インフォメーションセンター
第4回	1月24日(木) 13:00～15:00	・帯広開発建設部2階会議室



第1回WGの様子



第3回WGの様子

実施概要

回	開催日	実施概要
第1回	8月1日	・札内川の洪水の歴史及びダムの効果等について紹介 ・「札内川の望ましい姿」について意見交換 ・礫河原再生の取り組みについて意見交換
第2回	9月27日	・各自治体の取り組みについて紹介 ・札内川懇談会「中間とりまとめ」たたき台について意見交換
第3回	11月15日	・魚食性鳥類専門家を招いての勉強会開催 ＜現地視察＞ 礫河原再生の取り組み試行地を視察 ＜室内＞ 魚食性鳥類の生態について専門家から講話
第4回	1月24日	・礫河原再生の取り組みに係るモニタリング項目の意見交換 ・ロシアの原始河川紹介 ・平成25年度の活動について

第1回自然環境ワーキンググループ

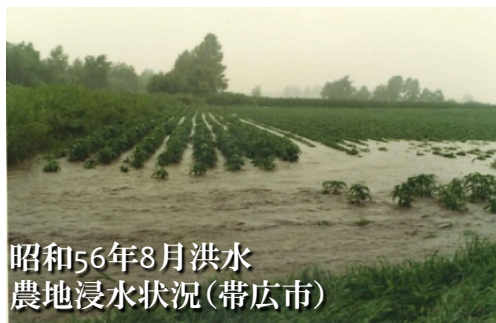
「札内川の望ましい姿」&「礫河原再生の取り組み」 について意見交換

魚類のよりよい生息環境実現のために

洪水の歴史について



昭和37年8月洪水
流出した札内川上札内橋
(中札内村)



昭和56年8月洪水
農地浸水状況(帯広市)

各種魚類が
産卵・孵化できる河川に

魚類への河畔林からの
昆虫供給が必要

蛇行し、広く、多様な
水深と流速がある河川

十分な落ち葉が継続的
に供給されることが必要

全体的な進め方に関して

海・川・山を堤内も含めて河畔林でつなぐ視点が重要

モニタリングを継続しながら進めることが重要

札内川の自然の変遷については入植以前の状況から考えるべき

などの意見を交換した。

第2回自然環境ワーキンググループ

6月に試験的に実施した 札内川ダム放流結果説明



- ・放流により河床の付着藻類が剥離更新
- ・清潔感、美観が向上
- ・親水性向上の効果が期待

札内川懇談会「中間とりまとめ」たたき台
&
各自治体の取り組みについて紹介

瀬・淵・たまりの造成についてモニタリングを

中間取りまとめについて意見交換

第3回自然環境ワーキンググループ

礫河原再生の取り組み試行地現地視察
(旧川への引き込み箇所など)



魚食性鳥類勉強会



魚食性鳥類の生息
には豊富な魚類が必要



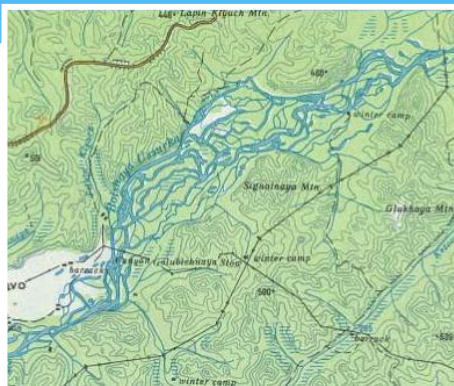
そのためには豊富な水
生昆虫が必要



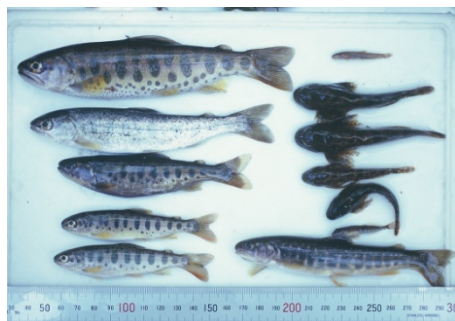
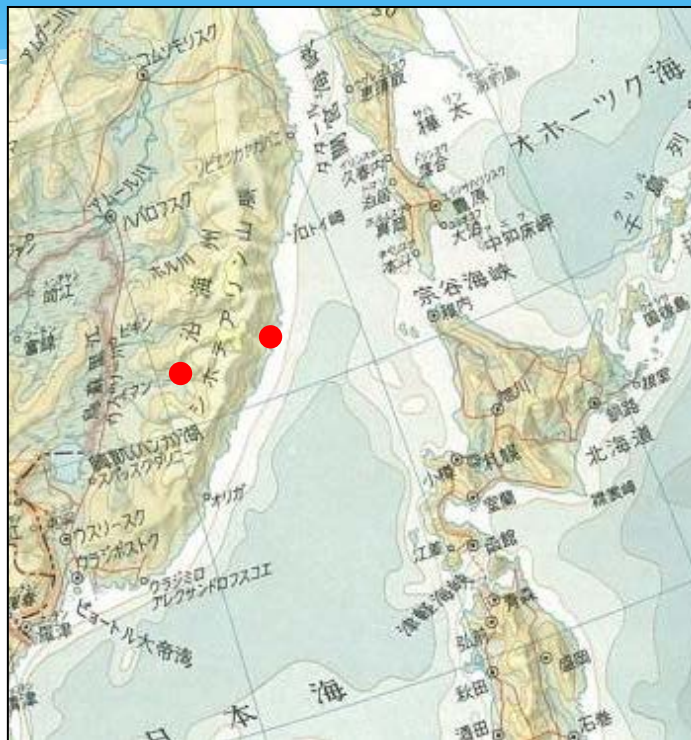
礫河原再生に伴う魚類と水生昆虫の変化を
モニタリングすることが必要

第4回自然環境ワーキンググループ

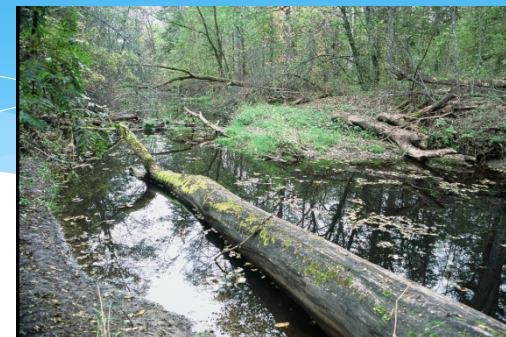
ウスリー川網状河川



ロシア原始河川の紹介



イマン川支流



第4回自然環境ワーキンググループ

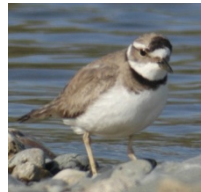
札内川における礫河原再生

流路の一部掘削
(河道整正・旧流路掘削)
樹木伐採

既設ダムを活用
(札内川ダム)

自然攪乱システムの復元

礫河原の拡大&新たな形成へ



旧河道においては水域が復元



試験施工予定地にてモニタリング

第4回自然環境ワーキンググループ

礫河原再生に伴う自然再生評価手法及びモニタリング項目確認

魚類
(種類・重量)



餌環境
(水生昆虫)



単位面積当たりの
生物量で評価

物理環境
(流速・水深・川幅)

